

後日のために記入しておいてください

購入店名: _____ 電話(-)

ご購入年月日: 昭和 年 月 日

—メモ—

日立家電販賣株式會社
株式會社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2丁目15番12号 電話(03)502-2111番

NB21262-A 041 (M)

日立ガステーブル

《取扱説明書》 LPガス用・GHS-24S⁽¹⁾
都市ガス用・GHS-24S⁽²⁾・GHS-24S⁽³⁾



HITACHI

このたびは日立ガステーブル〈プリン形〉をお求めいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は、保証書、ご相談窓口一覧表とともに、大切に保存してください。

目 次

- | | | | |
|-----------------|---|------------------|----|
| ■特に注意していただきたいこと | 1 | ■日常の点検・手入れ | 6 |
| ■各部の名称 | 3 | ■故障・異常の見分け方と処置方法 | 8 |
| ■器具の設置 | 4 | ■仕様 | 9 |
| ■使用方法 | 5 | ■アフターサービス | 10 |

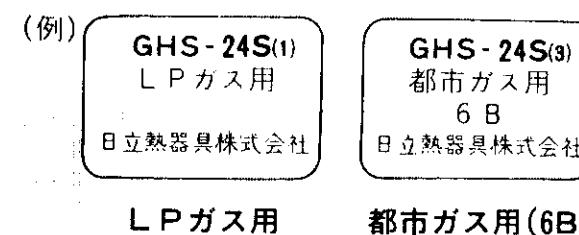
■特に注意していただきたいこと

■使用ガスについてのご注意

器体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。

(銘板は器具の右側面に貼ってあります)

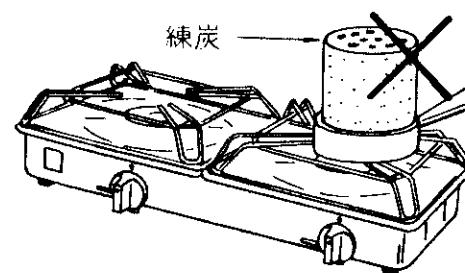
●都市ガスには14種あります。(9ページ参照)



■用途についてのご注意

調理以外の用途(炭・練炭あこし等)には使用しないでください。

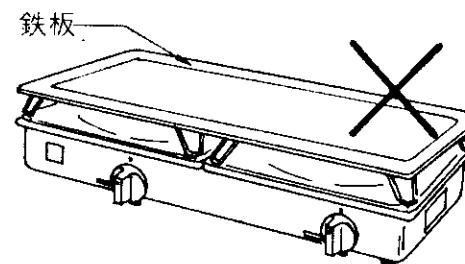
過熱や異常燃焼による焼損、火災などの危険があります。



■市販の補助用具使用についてのご注意

(1)こんろを覆ってしまうような不良補助具や、大きな鉄板、陶板類は使用しないでください。
不完全燃焼による中毒・過熱や異常燃焼による器具の焼損、火災等の危険があります。

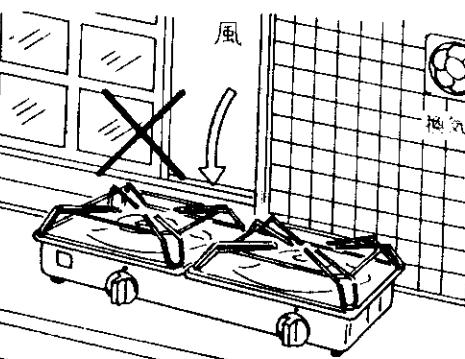
(2)上のせんべいは使用しないでください。
異常過熱し、故障の原因となります。



■使用場所についてのご注意

(1)次のような場所では使用しないでください。

- 風の吹き込むところ。
- 棚の下などで落下物の危険のあるところ。
- カーテンや燃えやすいものの近く。



(2)家具、壁その他の可燃物から十分離れている場所で使用してください。(詳しくは4ページをお読みください)

(3)換気(給気・排気)が十分できるところに設置するか換気できるようにして使用してください。

■設置について

正しく設置してご使用ください。(詳しくは4ページをお読みください)

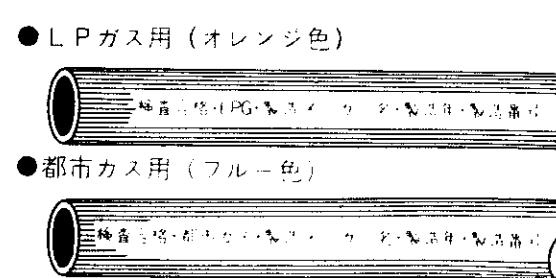
また、正しく設置されているかの確認も行なってください。

■使用上のご注意

1. ガス漏れ予防

(1)ゴム管は新しいガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。

●ビニル管は熱に弱く、弾力性もありません

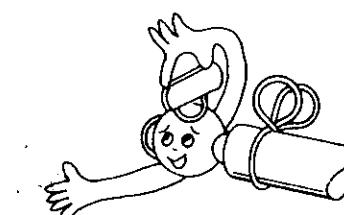
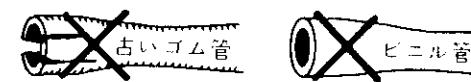


(2)古いゴム管は、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんだりしやすく、ガス漏れするおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

(3)ゴム管は、少なくとも1ヶ月に1回は点検し、ひび割れしたり、弾力がなくなったりしている場合は、新しいものと交換してください。

(4)使用時の点火・消火のほか、使用中にもときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

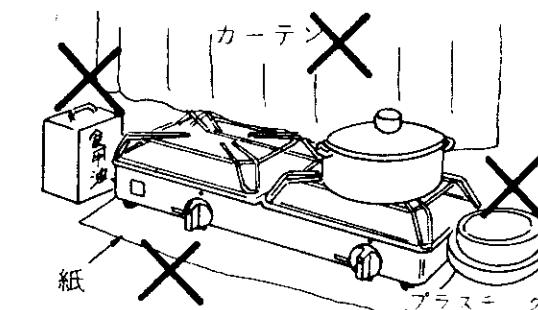
(5)使用後は必ず器具せんつまみを「止」位置にし、消火したことを確かめてください。
また、お出かけやお休みの際には、必ずガス元せんも閉じてください。



2. 火災予防

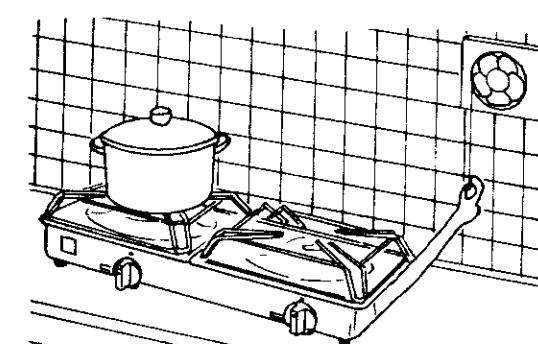
(1)器具の上や周囲には、燃えやすいものを置かないでください。

(2)火をつけたまま長時間離れたり、お出かけ、お休みは、絶対にしないでください。



3. 火傷のご注意

使用中や使用直後は、ごとく、しる受けなどが高温になっていますので、つまみ以外の部分には手をふれないでください。



4. 換気のご注意

ご使用と同時に換気扇を回すなど、換気には十分ご注意ください。

●閉めきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼により一酸化炭素中毒の危険があります。



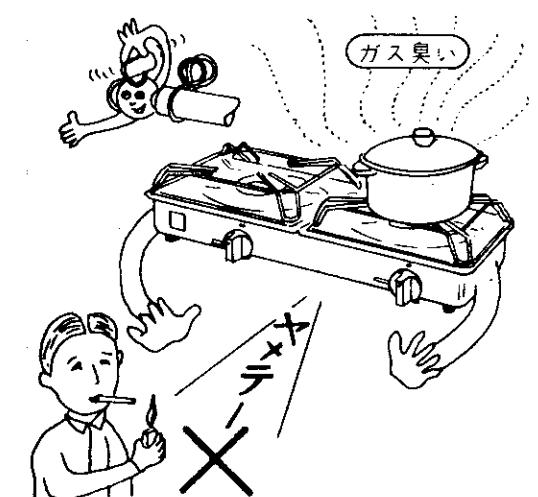
5. ガス事故防止

ガス漏れに気付いたときは、すぐに使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけてガスを外へ出してから、漏れの原因を調べてください。

おわかりにならないときは、お買い求めの販売店かガス供給業者に連絡してください。

ご注意

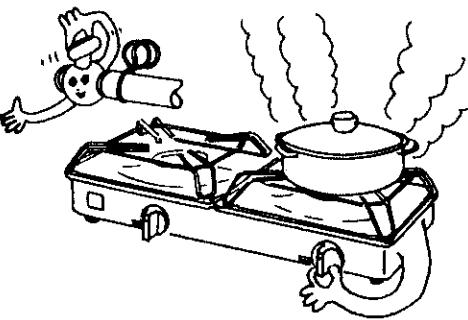
万一家が漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具のスイッチの入・切はしないでください。火や火花でガスに引火し、爆発事故を起こすことがあります。



特に注意していただきたいこと

6. 異常時の処置

万一異常燃焼を起こしたときや緊急の場合、あわてず
に器具せんとガス元せんを閉じて、消火してください。

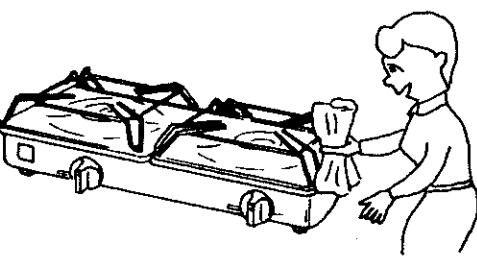


■日常の点検・手入れ

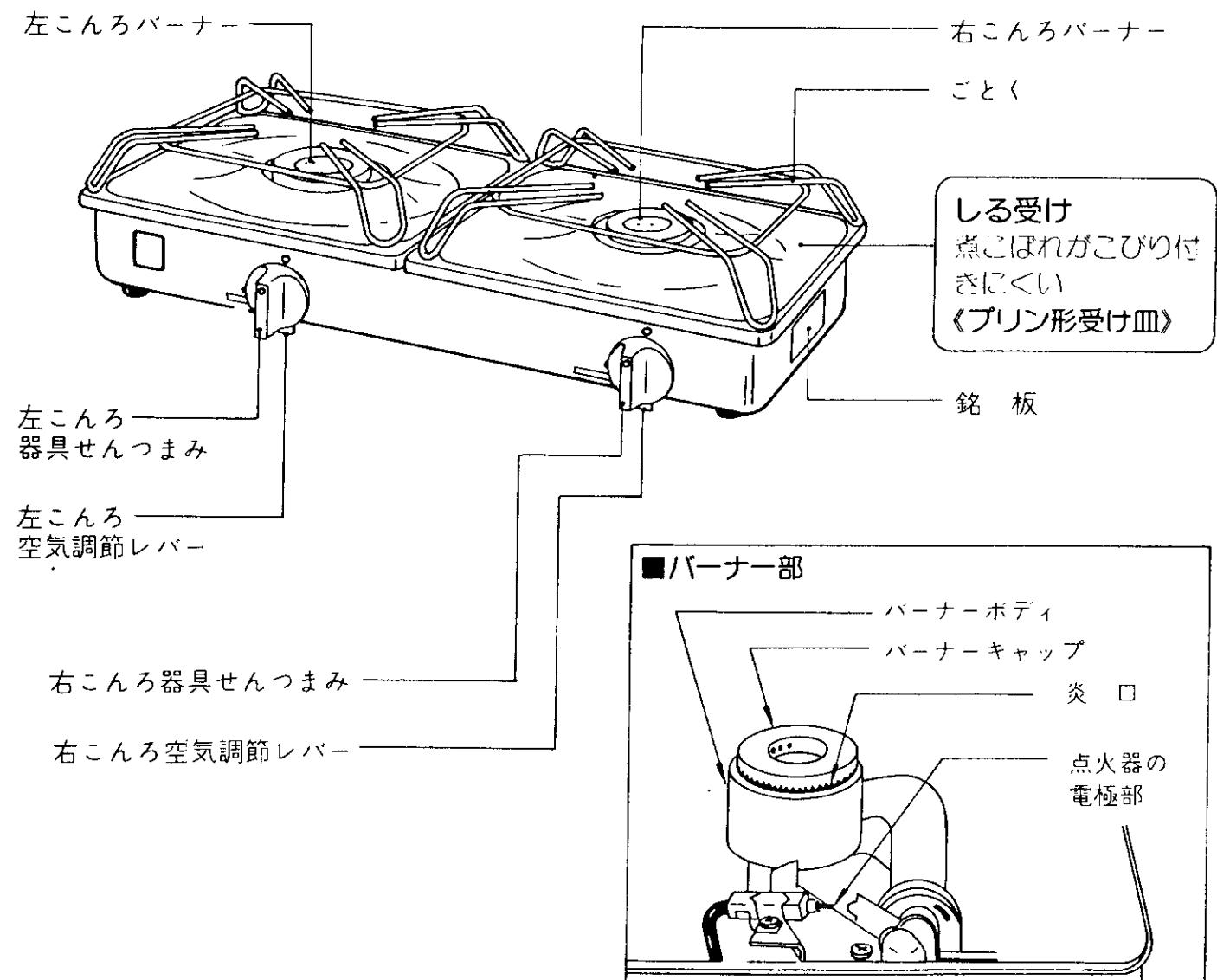
(1)日常の点検・手入れは、必ず行なってください。

(詳しく述べは6~7ページをお読みください)

(2)故障または破損したと思われるものは、使用しない
でください。不完全な修理は危険です。
万一ぐあいが悪くなつて処置に困るような場合は、
お求めになつた販売店にご相談ください。



■各部の名称



■器具の設置 器具は次の要領で安全な位置に正しく設置してください

■設置前の準備

- (1)器具は可燃物（しる受け面から側方の壁面など）から15cm以上離して設置してください。（図1）ピッタリ付けて設置しますと、壁面などの温度が上がり危険です。また上部に吊り棚等がある場合は器具上面と吊り棚との間に100cm以上の空間を設けてください。（図1）
- (2)器具と壁面との間隔を15cm以上離せない場合、また吊り棚などの下面との間隔を100cm以上離せない場合で、壁面や吊り棚などが可燃性材料（例えば木）でできている場合は、別売品の防熱板を下図の要領で取付けてください。（可燃性材料と防熱板との間には1cm以上の空間を設けてください）

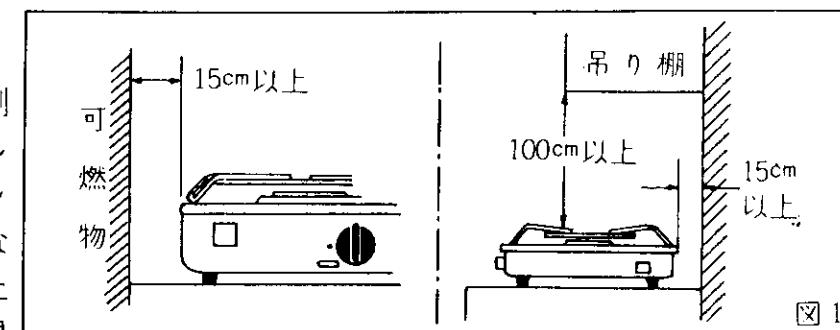


図1

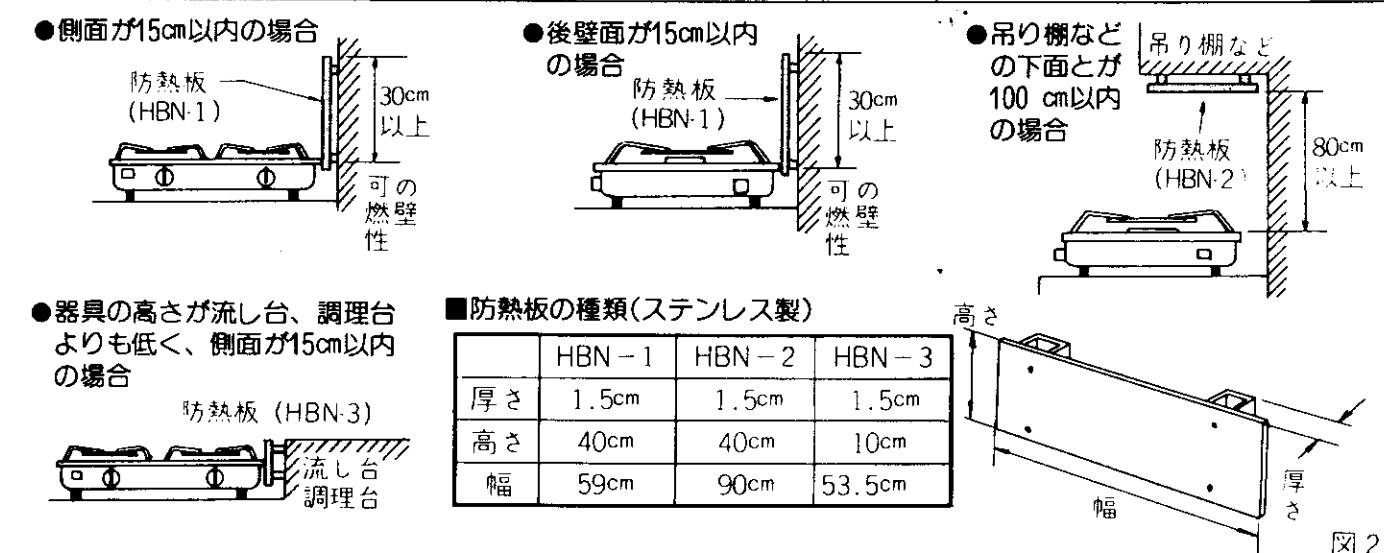


図2

(3)器具は丈夫で水平なガス台等の上に設置してください。

■設 置 (ゴム管の接続)

- (1)ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたり、ねじれたりしないよう、できるだけ短かく（2m以内で適当にゆとりをもたせる）、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてください。
- (2)ゴム管は、ゴム管口にごみなどが付着していないことを確かめてからゴム管口の赤線まで差し込み、ゴム管止めで確実にとめてください。（図4）
- ゴム管止めは、付属のものかまたはガス会社・LPGガス業者指定品を使用してください。

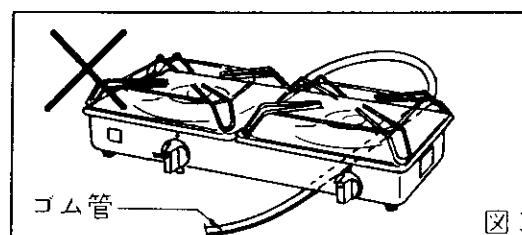


図3

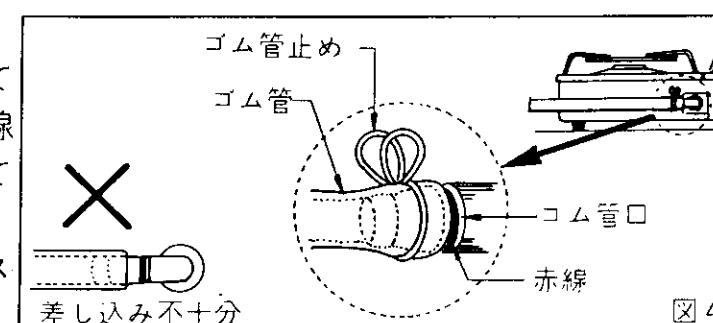


図4

■使用方法

■点火前の準備と確認

- (1)器具周辺に、紙、プラスチック、油類など、燃えやすいものが置いてないか確認してください。
- (2)器具せんつまみが2つとも「止」位置(縦向き)になっていることを確かめてから、ガス元せんを全開にしてください。

■点 火

次の要領で点火操作を行なってください。

- (1)空気調節レバーを「止」の方向へ止まるまで動かす。(この操作は器具を初めてご使用になるときだけ必要です)
- (2)なべ等をのせ、器具せんつまみを図5の矢印(左)方向にゆっくり「⑩」の位置まで回しますと「カチッ」と音がし、バーナーに着火します。
- (3)着火しなかったときはすぐに器具せんつまみを元へ戻し、点火操作をくり返す。

(初めて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて着火しにくいことがあります)
ので、空気が抜けて着火するまで(数回)点火操作をくり返してください。

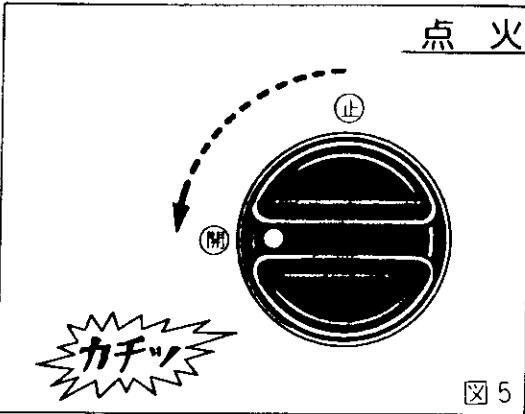


図5

■空気調節

空気調節レバーを右または左に動かし、炎が図6の「良好燃焼」の形になる位置にしてご使用ください。

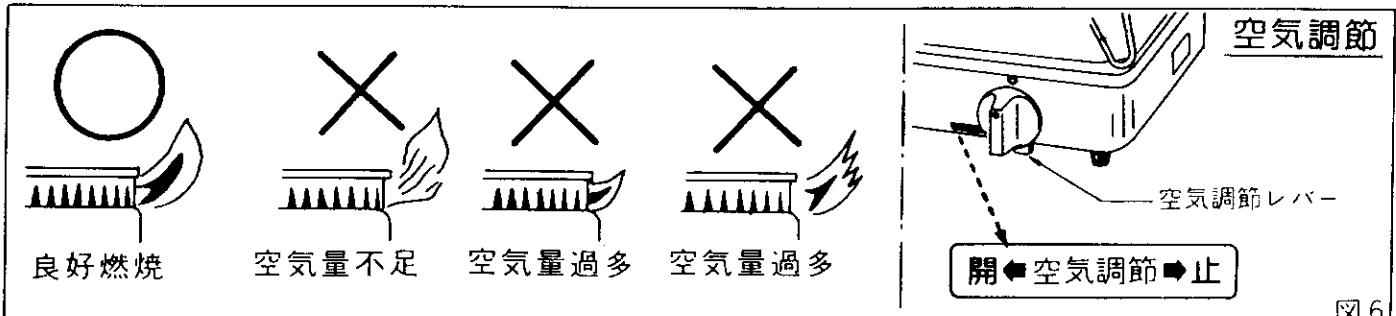


図6

●ガスをムダなく安全に使うために、空気量は正しく調節し、常に「良好燃焼」の状態で使うようにしてください。

■火力調節

- 火力は、器具せんつまみの○印が「⑩」位置のとき最も強く「止」方向へ戻していくにつれて弱くなります。
- 弱火にするときは、ゆっくり炎を見ながら調節してください。
- 炎をあまり小さくしますと、風などで消えやすくなりますのでご注意ください。

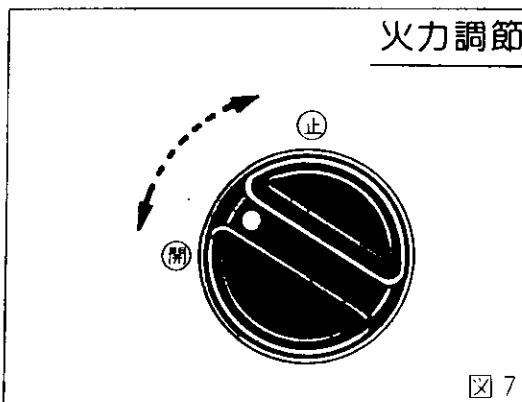


図7

■消 火

器具せんつまみを「⑩」方向へ止まるまで戻すとガスの出が止まり、消火します。(図8)

- 途中で消火しますが、必ず「⑩」位置まで(止まるまで)戻してください。
- 消火の際に「ポン」と大きな音がする場合は、空気量が多いためですから、空気調節つまみを「止」方向へ動かしておいてください。

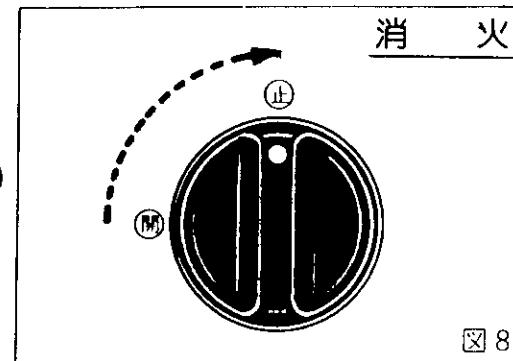


図8

■日常の点検・手入れ

点検・手入れは、必ず器具せんとガス元せんを閉じてから行なってください。

■点 檢

1. ゴム管とゴム管の接続

- (1)ゴム管は長い間使用しますと、ひび割れしたり、差し込み口がゆるくなりますので、早目に取り替えてください。
- (2)接続が不完全ですと、ゴム管の抜けやガス漏れの原因となりますので、赤線までしっかりと差し込み、ゴム管止めでとめてください。

2. 器具の各部

- (1)バーナーおよびその周辺のよごれは、不完全燃焼の原因となりますので、よごれている部分は掃除してください。
- (2)バーナーボディ、バーナーキャップ、しる受け、ごとくなどが、正しくセットされていることを確かめてください。

■手入れ

器具は常に清潔にしてご使用ください

1. ごとく・しる受けの掃除

ごとくやしる受けは、いつも清潔にしてご使用ください。

しる受けの掃除は、しる受けの暖かいうちにふきとれば、掃除は一層容易です。

なお、ごとく、しる受けのよごれがひどいときは、外して掃除してください。

- ごとく、しる受けを取りつけた際、ガタツキがあるようなときは、載せる方向を変えてみて、好適な組合せにしてください。

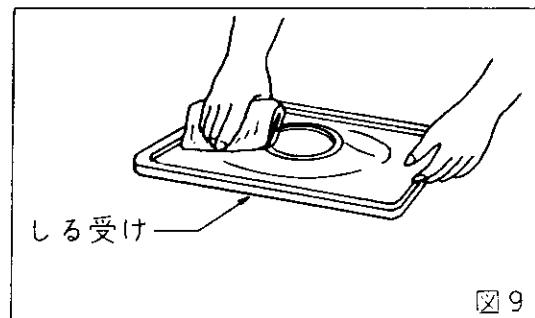


図9

日常の点検 手入れ

2. バーナーの掃除

バーナーに煮こぼれがかかったときは、その都度バーナーキャップを外してブラシやキリなどで掃除してください。(図10)

- バーナーキャップの水洗いは避けてください。どうしても水洗いをする場合には、水気をふきとったあと完全に乾かしてからバーナーボディにはめ込んでください。

●掃除したバーナーキャップを元へ戻す際には、正しくセットしてください。(図11)

- よごれやこびり付きなどでバーナーキャップが外れなくなってしまった場合には、無理に外しても正常にセットできませんので、とりあえずそのまま(バーナーボディに付けたまま)で炎口のつまりを取り除いて使用し、早目に修理(バーナーの交換)をお買い求めの販売店に依頼してください。

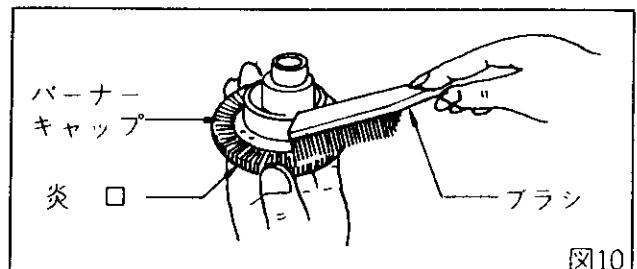


図10

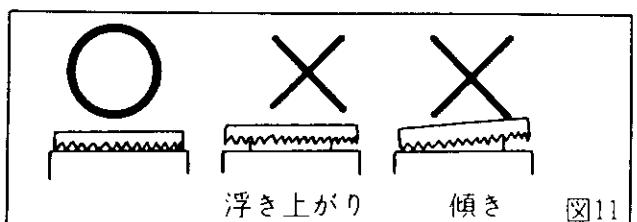


図11 浮き上がり 傾き

■バーナーの取外し方

バーナーボディのよごれがひどいときは、バーナーを取外して掃除してください。

図12のように器具の底面にあるバーナー止めねじをドライバーで外せば、バーナーは取外せます。

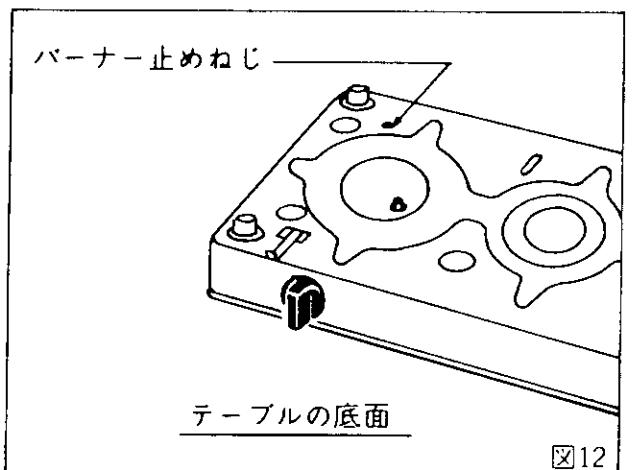


図12

3. 点火器の電極部の掃除

電極部がよごれると点火しにくくなります。しる受けを外した際に点検し、よごれているときは乾いた布などきれいにふきとってください。

- 電極部に手を触れたまま点火操作をしますと、感電することがありますのでご注意ください。

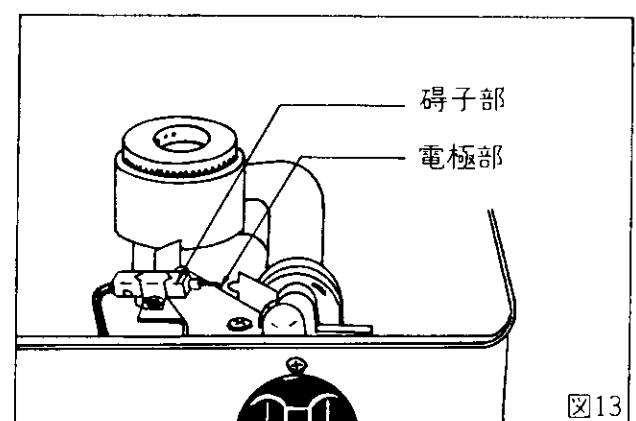


図13

■故障・異常の見分け方と処置方法

ぐあいの悪いときは、つぎの表を参考にして処置してください。不完全な処置は事故のもとになりますので、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

現象	原因										参考ページ
	点火しない	バーナーに火移りしない	黄炎で燃えず	炎が安定しない	炎が不揃い	異常な音がして燃える	火力が弱い	ガスのにおいがする	消火のとき大きな音がする	消火しない	
ガス元せんの開け忘れ	●										器具せんを一度閉じてから、ガス元せんを全開にする
ガス元せんの開き不十分	●	●				●					ガスが正常に出るまで、十分注意しながら使用する
ゴム管内に空気が残っている	●	●	●								5
ガスが少なくなっている(LPGガス)	●	●				●					新しいポンペに替える
点火器電極部のよごれ	●										よごれをふきとる
バーナーの炎口づまり	●	●	●	●	●						7
バーナーキャップの取付けが不完全	●	●	●	●	●	●	●				7
バーナーボディの取付けが不完全	●	●	●	●	●	●	●	●			正しく取付ける
空気調節が適切でない	●	●	●	●	●		●				5
ゴム管の折れ曲り、つぶれ	●	●				●					ゴム管の折れ、曲りをなおす
点火操作が適切でない	●										5
ノズルのつまり	●	●	●			●					販売店に点検・掃除を依頼する
ゴム管のひび割れ、穴あき							●				新しいゴム管と交換する
ガス圧が適切でない	●	●	●	●	●	●	●				他の器具も同様の場合は点検依頼する
器具の銘板に表示のガスと使用ガスが不一致	●	●	●	●	●	●	●	●			1
ゴム管の接続が不完全							●				ゴム管の接続を確実に行なう
器具せんの故障	●					●	●	●			4
											販売店に点検・修理を依頼する

参照ページ

5

7

7

5

5

4

4

4

1

4

4

仕様

品名	こんろ(日立ガステーブル・プリン形)				
形式の呼び	GHS-24S				
種類	二口こんろ				
点火方式	圧電点火				
外形寸法	高さ118mm×幅528mm×奥行318mm				
重量	5.5kg				
使用ガス	形式の呼び	1時間当たりのガス消費量			
使用ガスグループ		全ガス消費量	左こんろ	右こんろ	ガス接続
都市ガス	4 A	GHS-24S ₍₂₎	3,600kcal/h	1,900kcal/h	1,900kcal/h
	4 B	GHS-24S ₍₃₎	3,600kcal/h	1,900kcal/h	1,900kcal/h
	4 C		3,800kcal/h	2,000kcal/h	2,000kcal/h
	5 A	GHS-24S ₍₂₎	3,700kcal/h	1,900kcal/h	1,900kcal/h
	5 A N		3,400kcal/h	1,750kcal/h	1,750kcal/h
	5 B		3,650kcal/h	1,850kcal/h	1,850kcal/h
	5 C	GHS-24S ₍₃₎	4,000kcal/h	2,050kcal/h	2,050kcal/h
	6 A	GHS-24S ₍₂₎	3,500kcal/h	1,800kcal/h	1,800kcal/h
	6 B	GHS-24S ₍₃₎	3,850kcal/h	1,950kcal/h	1,950kcal/h
	6 C		4,450kcal/h	2,300kcal/h	2,300kcal/h
	7 C		3,950kcal/h	2,000kcal/h	2,000kcal/h
	11 A	GHS-24S ₍₂₎	3,450kcal/h	1,750kcal/h	1,750kcal/h
	12 A		3,700kcal/h	1,850kcal/h	1,850kcal/h
	13 A		3,950kcal/h	2,000kcal/h	2,000kcal/h
L P ガス用	GHS-24S ₍₁₎	0.324kg/h	0.162kg/h	0.162kg/h	呼び寸法9.5mm L Pガス用ゴム管

アフターサービス

■サービスを依頼される前に

サービスを依頼される前に8ページ「故障、異常の見分け方と処置方法」項をご覧になり、もう一度ご確認ください。

確認の上それでも不具合な場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店にご相談ください。

- アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

①品名……………日立ガステーブル	③現象……………できるだけ詳しく
②形式の呼び……………GHS-24S _{(1),(2),(3)}	④道順……………付近の目印も

■転居される場合

ご転居によりお求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお求めの販売店にご相談ください。

ご転居先での日立家電品の取扱店を紹介させていただきます。

なお、この製品はガス種が変る場合は、改造や調整が必要となりますので、転居先の販売店にご相談、ご用命ください。

■保証

- この商品は保証書付きです。

保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

- 保証期間はお買上げの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間にについて

- ガステーブルの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は、その他お困りの場合は、お求めの販売店か別紙(黄色用紙「日立家電品ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。